

SCIENCE Letter NO.8

令和7年11月12日
神奈川県立座間高等学校 理科（1年）

選択：理数探究基礎 授業「神奈川県内の理科的な施設を探る」

令和7年11月18日（火）7時間目に理数探究基礎の「神奈川県内の理科的な施設を探る」（全2回）を学習しました。この授業ではスライドを作成し、発表して、相手に伝えることに重きをおいて、全員が発表を行いました。

学習内容

1時間目 「自分の気になる神奈川県内の理科的な施設について、スライドにまとめて、発表を行う」

2時間目 「理科ツアーレポートを作成し、発表を行う」

座間高生が気になっている理科的な施設 ベスト3

順位	おすすめ施設	おすすめポイント
1位	相模原ふれあい博物館	県内の淡水魚について深く知ることができます。えさやり体験・ふれあい体験など身近に感じられる。
2位	JAXA相模原キャンパス 宇宙科学探査交流棟	最先端の宇宙について感じることができます。ロケットの模型など細部について、見ることができます。
3位	ズーラシア（横浜動物園）	森の貴婦人のオカピ、園内がとても広い。1日では回れないくらい。お気に入りの動物にきっと出会うことができる。
その他	生命の星・地球博物館・フラワーセンター	県西にも見所たくさんあります。

実験の技能を養う・実験から考察する力を養うばかりでなく、「発表の練習」「発表用の資料をまとめる練習」など、幅広く理科の力を養うような活動を座間高校の理数探究基礎では行っています。

スライド発表を受けて（生徒の感想より）

- ・今回の発表を行ったのは一人2分程度でしたが、体感的には10分以上かかっているように感じられました。発表の途中で言葉に詰まったり、途切れがあったり、質問事項に答えられなかつたりと、不備が多かったので、これからは対策に努めます。
- ・スライドをすべて読み上げるのではなく、たとえ話をいれたり詳しい説明もいれたり口頭で説明することもできました。詳しい内容は口頭だけで説明すればよいと感じました。
- ・私は「JAXA 宇宙科学研究所」に行きました。相模原市にあり、入館料無料ということで行きやすくて良いなと思いました。また普段見ることができないロケットの実物展示や、はやぶさなど実寸模型があると知り面白そうだと感じました。



座間高生プレゼン「理科的な施設めぐりツアー」 (簡略してあります)

A班 淵野辺駅→JAXA 宇宙科学研究所→昼食→相模原市博物館

B班 日本大通駅→シルク博物館→ニュースパーク→昼食→みなと博物館→三菱みなとみらい科学館

C班 相模原駅→相模川ふれあい博物館→昼食→麻布大学

時間	内容
9:00～9:15	東急田園都市線
9:15～9:25	休憩
9:25～10:30	シルク博物館
10:40～10:45	休憩
10:45～11:45	ニュースパーク
11:45～11:50	休憩
12:00～12:30	相模原市立博物館
12:30～12:45	休憩
12:45～13:20	みなと博物館
13:20～14:20	休憩
14:20～14:40	休憩
14:40～15:40	三菱みなとみらい科学館
15:50～16:00	休憩
16:00	休憩



移動 徒歩 (矢部駅北口から麻布大学いのちの博物館)

矢部駅北口から徒歩5～10分
13時40分頃到着



他の施設へ移動 (相模原市立博物館)

開館時間 午前9:30～午後5:00
入館料 無料
プラネタリウム
1人 500円
JAXA宇宙科学研究所から
徒歩5分

麻布大学いのちの博物館



●動物学コーナー
ここが男どころ!
・病理標本(動物が「死」と戻った姿を標本としたので、日本人を見てどこで動物のが病気で死んでいることをリアルタイムで知ることができます。
・畜生系の標本を見ることがある。
●動物では見れない細部まで見ることができ、より「のん」いうものが何を学ぶことができる。

麻布大学いのちの博物館



●動物学コーナー
館内には様々な動物の骨格が置かれており、その動物の大きさや形から生きの神経について考え、学ぶことができるエリア。
★Tip...
地上最大のアフリカゾウ! そしてそれとは比べ物にならないほど小さいキヌ!しかし、この2匹の動物の骨の作りを比べてみると...。

観覧3 その他



そのほかにも火星探査機の模型と説明があり、交流エアリでは映像の展示があったりします。交流エアリは昔も昔も昔なので、昔の「宿別課題探究」に使える資料もあるかもしれません。また、児童に関する解説や模型もあるので、興味がある方はご覧になってください。
(お土産物も販賣ます。)

観覧1



展示物としては、相模原台地が誕生した時代を象徴する生き物、マンモスの骨格化石が展示されています。その他にも、相模原台地の発展となる地層についてや、旧石器時代の遺跡などとされるオオツノヅカの模型等であります。いずれも相模原の歴史と当時の人々の様子を表現しているので、相模原市立博物館に行ったら見てみたいですね。これらの展示はプラネタリウムを通って観覧にお金がかかるないところも、魅力の一つだと思います。

シルク博物館



2F 掲載物の作品
←癒浜が世界への生糸輸出港として発展した歴史や、織物の美しさと技術を伝える展示が広がっています。
1F 蛹についてのゾーン
←「まゆ」からとった糸をとる「糸くり」、布を織る「はた織り」などの体験ができる。
↑蚕や製糸に関する歴史資料や道具を実物と映像で展示している。生きた蚕が見れる。

三菱みなとみらい博物館



1. 空・宇宙ゾーン
ロケット開発 H-IIロケットのエンジン展示
2. 海ゾーン
「しんかい6500」 地球深海探査船「ちくう」
3. M.H. フューチャーゲート
三菱重工の歴史 路・海・空・宇宙の分野で活躍する商品・技術
4. 企画展示コーナー
現在の企画展: 2040年の未来を描いたデジタルスケッチ